北海道議会議員

2026新春

小林ちよみ vol.7 道政だより



発行：小林ちよみ道政事務所　千歳市錦町２丁目23-1

●この道政だよりはポスティング、チラシ折り込み、郵送でお届けします。

知事 泊３号機の稼働同意

福島での原発事故以降、運転を停止していた泊原子力発電所３号機の再稼働に知事は12月10日道議会で同意し、これに対し私たち民主会派は右の声明文を発表し、同意の撤回と十分な審議時間の保障を求める決議を提案しました。

福島の事故が未だ解決されず、原発の安全性が問われる中、現地に暮らす方々の避難や安全は十分ではありません。また、北海道は再生可能エネルギー資源が豊富にあり、これから未来に向けての再エネ・省エネの活用が必要です。

泊３号機は2027年中の再稼働が見込まれていますが、引き続き安全対策、脱原発、核ゴミを持ち込ませないこと、再生可能エネルギーの拡大に向けて取り組みます。

民主道民連合の声明文（抜粋）

- 原子力規制委員会の審査通過からわずか４ヶ月の同意。道民の理解は不十分であり、あまりにも拙速である。
- 地域住民の避難手段の確保や実効性のある防災体制が不足してる。
- 道には省エネ・再エネ促進条例がある。再生可能エネルギーを最大限活用したエネルギービジョンを示すべきである。



●12月議会で成立した補正予算●……276億8,800万円

主なもの

●ヒグマ対策推進費　7,000万円

自衛隊派遣費用　春グマ駆除対策費用

●物価高騰対策　１億3,900万円

LPガス利用世帯に2,000円支援

特別高圧電力使用の中小小規模事業者に２.３円／kwh支援

●災害復旧事業　71億8,400万円

農業施設、土木施設等の災害復旧

決算特別委員会　小林ちよみの質問概要

ヒグマ対策

質問 緊急銃猟制度が始まった。市町村やハンターが不安なく発砲行為に取り組むための対策を伺う。

答弁 緊急銃猟の円滑な運用や不安の払しょくを図るよう国に要望した。備品購入、マニュアル策定などで緊急銃猟に備えた体制作りに努める。



ふるさと納税

質問 2026年８月より返礼品の製造・加工原価の公表などが義務化され、返礼品の継続に支障が出かねる。市町村の声をしっかり受け、真の地域経済活性化にするべき。

答弁 返礼品の付加価値基準の明確化に不安を感じている自治体もある。総務省とも意見交換を行っている。今後も市町村との協議の場を通じ支援を行う。

財政難

質問 道財政の悪化が継続する。人件費の増加、物価高騰など財政状況の好転も見られない。財政健全化にどう取り組むのか。

答弁 収支不足の縮小、実質公債費比率に取り組んでいる。持続可能な財政構造を目指しながら、財政健全化に向けた取り組みを進めていく。



こども誰でも通園制度

質問 こども誰でも通園制度が始まる。人材確保、保護者対応、利用時間制限、空きがないなどの声を聞く。しっかりした支援が必要だ。

答弁 国の検討状況を注視し、必要な財源措置や人員確保など、市町村の取り組みを把握し、柔軟な制度運営が可能となるよう、国に要請する。

写真で見る小林ちよみの活動　2025年 冬



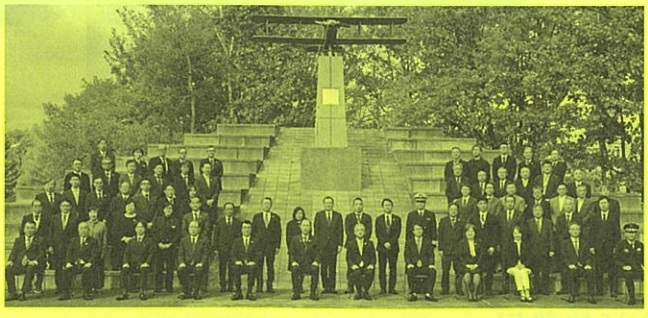
道民の森で育樹活動



熊本の半導体工場を視察



熊本県の半導体政策を伺う



空港開港99年献花式

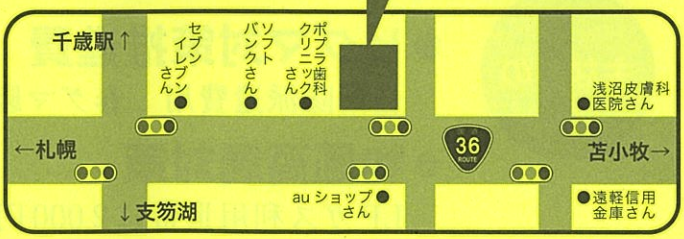


戦車射撃競技会見学



女性議員でドナルド・マクドナルドハウスを見学

小林ちよみ道政事務所



●住所　〒066-0064　千歳市錦町２丁目23-1
●TEL　0123-21-9174　●FAX　0123-21-9176
●Mail　info@chiyomi.jp

＼お気軽にお立ち寄りください／